

平成27年度議会懇談会報告書

平成28年2月

与謝野町議会

目 次

はじめに	1
1 開催地区、開催日及び参加者数	1～2
2 班編成	2
3 次 第	2
4 参加者への配布資料	3
5 これまでの議会懇談会	3
6 総括	3～4
7 町長への議会要望事項	4～5
8 議会要望事項に対する町の回答	
9 議会懇談会参加者の質問に対する町の回答	
10 議会懇談会における意見、要望等及び回答	1～37

《資 料》

議会懇談会アンケート調査の集計結果

議会懇談会基調報告

平成 27 年度議会懇談会報告書

はじめに

平成 24 年 3 月に制定いたしました議会基本条例第 4 条の規定により、本年度の議会懇談会を 10 月 13 日から 11 月 12 日の期間に開催し 197 人のご参加をいただきました。

議会懇談会は、広く町民の皆様の声をお聴きする広聴活動の充実を図り、町民の意思を町政に的確に反映させることを目的としており、本年度は、「一人でも多く地域の声をお聴きする」との趣旨で、町内 24 区の会場で開催いたしました。

当日参加者の皆様からいただきました多くのご意見・ご要望等と回答を取りまとめましたので、アンケートの集計結果も併せてご報告いたします。

議会懇談会の開催に当たりまして、区長様をはじめ関係者の方々、ご参加いただきました町民の皆様には多大なご協力をいただきまして心より厚くお礼申し上げます。

今年度若い方々の参加が少なかったことから、若い世代の方の参加について今後の課題として捉えています。今後も議会懇談会の開催にあたりましては、皆様からいただきました貴重なご意見等をもとに引き続き創意工夫に努め、より充実した懇談会となりますよう議員一同取り組み、開かれた議会の推進に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 開催地区、開催日及び参加者数

地 区	開 催 日	会 場	参加者数	担当班
加 悦	10 月 13 日（火）	加悦地域公民館	10	3 班
温 江	10 月 14 日（水）	温江地区公民館	9	2 班
与 謝	10 月 20 日（火）	与謝地区公民館	22	1 班
滝	10 月 23 日（金）	滝地区公民館	9	4 班
香 河	10 月 26 日（月）	香河地区公民館	5	1 班
後 野	10 月 26 日（月）	後野地区公民館	11	3 班
加悦奥	10 月 27 日（火）	加悦奥地区公民館	5	2 班
金 屋	10 月 27 日（火）	金屋地区公民館	6	4 班
明 石	10 月 28 日（水）	明石地区公民館	13	3 班
算 所	10 月 28 日（水）	算所会館	6	1 班
三河内	10 月 29 日（木）	三河内地区公民館	9	4 班
岩 屋	10 月 29 日（木）	岩屋地区公民館	4	2 班

四 辻	11月5日(木)	四辻地区公民館	9	1班
下山田	11月5日(木)	下山田地区公民館	8	3班
地 区	開 催 日	会 場	参加者数	担当班
石 川	11月6日(金)	石川地区農業構造改善センター	7	2班
上山田	11月6日(金)	上山田地区公民館	10	4班
幾 地	11月9日(月)	幾地地区公民館	10	3班
石 田	11月9日(月)	石田地区公民館	6	1班
浜 町	11月10日(火)	浜町会館	6	4班
弓 木	11月10日(火)	弓木地区公民館	6	2班
藪 後	11月11日(水)	藪後区集会所	3	1班
立 町	11月11日(水)	立町会館	4	3班
東 町	11月12日(木)	東町会館	2	2班
男 山	11月12日(木)	男山地区公民館	17	4班
合 計		24会場	197人	

※午後7時30分開会

2 班編成

班	氏 名	担当地区
1班	◎勢簾 毅 ○安達 種雄 今田 博文 高岡 伸明	与謝・香河・算所 四辻・石田・藪後
2班	◎有吉 正 ○多田 正成 渡邊 貫治 河邊 新太郎	温江・加悦奥・岩屋 石川・弓木・東町
3班	◎伊藤 幸男 ○塩見 晋 藤田 史郎 小牧 義昭	加悦・後野・明石 下山田・幾地・立町
4班	◎和田 裕之 ○江原 英樹 家城 功 宮崎 有平	滝・金屋・三河内 上山田・浜町・男山

◎ 班長 ○副班長

3 議会懇談会次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議会からの報告

①地方創生について

②ゴミ処理の広域化事業とゴミの有料化について

③幼保連携型「認定子ども園」について

④加悦中学校の改築工事の状況について

(3) 意見交換

(4) 閉会あいさつ

4 参加者への配布資料

- ・ 議会懇談会 議会からの報告
- ・ 与謝野町議会の概要
- ・ よさの 議会だより (第 37 号 8 月 10 日発行)
- ・ アンケート調査票

5 これまでの議会懇談会

年 度	開 催 日	会 場	参加者数	班編成
平成 2 4 年度	1 0 月 2 2 日 ～ 1 1 月 3 0 日	1 1 会場	2 0 6 人	3 班
平成 2 5 年度	1 0 月 2 8 日 ～ 1 1 月 2 2 日	1 1 会場	1 5 9 人	3 班
平成 2 6 年度	1 0 月 2 8 日 1 0 月 2 9 日 1 1 月 6 日	3 会場	1 0 5 人	3 班

6 総括

与謝野町議会では議会基本条例に基づき、二元代表制の下で、その一翼を担う議会として、町民からの声を聴く「広聴活動」の議会懇談会を本年度も開催しました。

本年度は 24 区すべての地区を会場として巡回し、テーマを設けずに、全議員を 4 班に編成し実施しました。

本年度の参加者数は、昨年度の 105 人に対し、全 24 会場で 197 人と大幅な増加となりました。しかし、これまでの懇談会もですが、若い世代の方や女性は少ない参加者数となりました。

これまでの懇談会では、議会への批判がストレートに出される傾向がありましたが、今回は「町政懇談会の 2 番煎じになっている」「行政の後追いとなっており、議会でやるべき課題を明確にして実施すべきだ」「基本条例に沿ってテーマを設けてやるべき」、また「議論を深め、もっと行政に対案や提案を示していくべきだ」などという従来にはなかった前向きな意見も多く見受けられましたのは、議会に対する町民の大きな期待であると受け止めています。

さらに、24 地区会場で開催したこともあり、各区の課題や実状、悩みなども多く出され、新鮮な側面もありました。このことは、議会として大きな収穫であったと考えています。

今回の懇談会の特徴的な意見では、冒頭に議会からの報告事項で 4 点 (1. 地方創生 2. ゴミ処理の広域化と有料化 3. 認定こども園の進捗状況 4. 加悦中学

校改築工事の進捗状況)を掲げたこともあり、それらに関連した発言が多くありました。

特に「人口減少」「地域の再生」「地域活性化」などについては、町民の方も大きな関心があり、「議会ではどう考えているのか」「議会としてどうしていくのか」といった質問や、「議会ももっと対案も示し、深めてほしい」などの意見が出されました。他にも様々な分野・角度での意見がありましたが、とりわけ「地域振興商品券」事業については、鋭い辛辣な意見が出されたと感じております。

1班4名という対応の中で、議員間の連携や意欲が一層深められたのではないかと感じる反面、参加者からの質問や意見に対しての対応には、「勉強不足」を感じる面も多く見られたと受け止めております。

以上を踏まえ、今後の議会の課題として

- ①皆さんから頂いた多くの声を行政に届け、その実現に取り組みます。
- ②議会懇談会への若い世代や女性の参加も得られるような対策を検討します。
- ③町の政策に対し、議会として議員間討議を深め認識の共有を図り、対案・提案できるよう努めます。
- ④議員としての資質向上を一層 図ります。
- ⑤各分野の団体との議会懇談会も意欲的に取り組みます。

などが挙げられると総括しています。

これからも、

- ①町民に見える議会
- ②町民の声を聞き、その期待に応える議会
- ③町民の参画と協働で進める議会
- ④町民とともに政策提言できる議会

に向けて、より一層努力を重ねてまいりたいと考えています。

7 町長への要望事項

議会懇談会で、町民のみなさまから寄せられました町に対するご意見・ご要望のうち次の事項について、平成28年1月14日に今田議長、多田副議長、伊藤議会運営委員会委員長、宮崎議会運営委員会副委員長が議会を代表して、山添町長に要望書を提出しました。

要望事項

- (1) 有害獣対策として整備された防護柵の維持管理について、各区への財政的支援を求めます。
- (2) 広域ごみ処理施設整備について、事業費縮減の十分な協議と検討を行い、周辺自治区をはじめ町民への丁寧な説明に努められたい。

なお、先進地の施設では度重なる不具合や事故が発生し問題が起きているので、この点も十分精査・検討されたい。

- (3) 学校の統廃合問題は町民にとって大きな関心事であり、すでに平成 34 年の統合は困難であると考え、新たな統廃合の方向性を検討するよう求めます。
- (4) 岩屋小学校の市場小学校への編入により児童の登下校距離が延長されることとなり、十分な安全対策を講じるよう求めます。
- (5) 介護保険料の町民負担が増加しており、元気に暮らせる介護予防施策の充実を求めます。
- (6) 府道網野岩滝線、府道加悦但東線の整備促進に努められたい。
- (7) 重要伝統的建造物群保存地区保全事業の京都府補助金について、上限基準額が交付されるよう京都府に対する要望を求めます。
- (8) 本町は高浜発電所からの距離は僅かにUPZから外れる地域であるが、原子力防災対策を講じるとともに、住民避難計画の策定に努められたい。
- (9) 町内各区の地域要望に対して積極的に対応されたい。

8 意見・要望等に対する回答

各区の24会場で町民のみなさまから出された意見・要望等と回答については、別紙のとおりです。